



大西さとし 市議会だより

2018.10
No.030

高松市議会 平成 30 年

第4回(9月)定例会の報告



◆第4回(9月)定例会

高松市議会は、9月7日から26日までの20日間の日程で、平成30年第4回定例会(9月議会)を開催し、平成30年度一般会計など17議案を可決するとともに、人事案件7件に同意したほか、議員提出議案2件を否決、陳情2件のうち1件を不採択、1件をみなす不採択としました。また、平成29年度一般会計・特別会計決算など5件を継続審議としました。

なお、当該定例会における補正予算の概要および、平成29年度の決算見込み概要は、裏面に記載しております。

◆～高松市の未来を話そう！

高松第一高等学校生徒と高松市議会議員による意見交換会～

高松市議会は10月5日(金)、市議会議員と高松第一高等学校生徒の代表者による意見交換会を開催しました。

高松第一高等学校生徒との意見交換会は、昨年に引き続き2年目となります。

本年の意見交換会は、更に議論を深めたいとの思いで2回(10/5、11/19)にわたり実施をし、生徒からの「住みやすく魅力ある高松市を目指す」ための意見や柔軟な発想を、これからの高松市の発展に向けた政策提言に生かしていくことを目指しております。

＜グループによる意見交換会の担当常任委員会およびテーマ＞

- グループ1(総務常任委員会)
＜テーマ＞ 若者から選ばれるまちを創る
- グループ2(教育民生常任委員会)
＜テーマ＞ 地域まるごとつながり支援
- グループ3(経済環境常任委員会)
＜テーマ＞ 食品廃棄物の減量・再資源化
- グループ4(建設水道常任委員会)
＜テーマ＞ 身近な公園整備



高松第一高等学校は、本年90周年を迎え、この間本市の教育のシンボルとして、国際社会や地域社会に貢献できるなどの人材育成にご尽力をいただき、多くの人材を輩出されております。

本意見交換会が、生徒の皆さんや若者にとって、市政や議会に関心を持つきっかけになるとともに、将来の高松を背負って頂ける人材として大きく飛躍する一助となれることを目指して、尽力して参ります。

これからも、市民の皆様が、夢や希望を抱き続けることが出来るよう、全身全霊で取り組んで参る所存でありますので、引き続きのご支援、ご協力、また叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

大西 智

12月定例会 一般質問項目

1 交通事故防止対策について

- (1) 生活道路における交通事故発生状況に対する受けとめと、事故多発場所における事故防止対策
- (2) カーブミラー等、交通安全施設の設置が困難な場所における事故防止対策
- (3) 事故が多発している市道交差点において、カラー舗装化による事故抑制対策
- (4) 香川県自転車の安全利用に関する条例の認知度向上と遵守に向けた取り組み

2 市道の安全対策について

- (1) 転落の危険性が高い水路の把握状況
- (2) 県警や県など、関係機関との連携の状況と役割分担
- (3) 転落の危険性の高い水路への転落防止対策の実施状況

3 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について

- (1) 日本パラ陸上競技選手権大会参加者に対するアンケートの結果と受けとめ
- (2) アンケート結果をいかに情報共有し、生かしていくのか
- (3) 官民が一体となって、バリアフリー化を促進するための支援に対する考え

4 観光振興におけるレンタサイクルの活用について

- (1) 官民のレンタサイクル情報の一元的な発信に取り組む考え
- (2) レンタサイクルと合わせてヘルメットの貸し出しを行う考え
- (3) 本市レンタサイクルに愛称をつけ、認識・愛着を高めるとともに、本市PRにつなげる考え

質問および答弁の概要(抜粋)

1. 交通事故防止対策について

(2) カーブミラー等、交通安全施設の設置が困難な場所における事故防止対策

<質 問>

第10次高松市交通安全計画では、これまでの対策では抑止が困難である交通事故について、発生地域、場所、形態等を詳細な情報に基づき分析し、よりくめ細やかな対策を効果的かつ効率的に実施していくことで、交通事故の減少を図ることとしています。

また、事故が多発している場所に対しては、地域の自治会などから事故防止対策として、「交通安全施設の設置要望」が出せるようになっている。

しかしながら、現地の状況や関係機関等との調整、また財政支出の面から、カーブミラー等の「交通安全施設」の実施に至っていないケースがあると聞き及んでいる、事故多発場所の住む地域の方々は、一刻もはやく、事故を抑止する効果的な対応を望んでいる。

そこで、カーブミラー等「交通安全施設」の設置が困難な場所における事故防止対策をどのように行うのか。

<答 弁>

交通安全施設は、交通ルールやマナーを遵守するドライバーの安全行動を補うものである。

交通安全の確保のためには、交通安全施設整備というハード面の対策とともに、交通ルール遵守やマナーの向上というソフト面の対策が、車の両輪としてあるものと存じている。

交通ルールの遵守は当然のこととし、まずは、ドライバーが「道幅の狭い道路では、速度を押さえて運転する」、「見通しの悪い交差点では、規制がなくても一時停止する」など、基本的な運転マナーを実践することについて、県警察や、交通安全母の会等、関係機関、関係団体と連携し、これまで以上に、周知・啓発に努めてまいりたい。

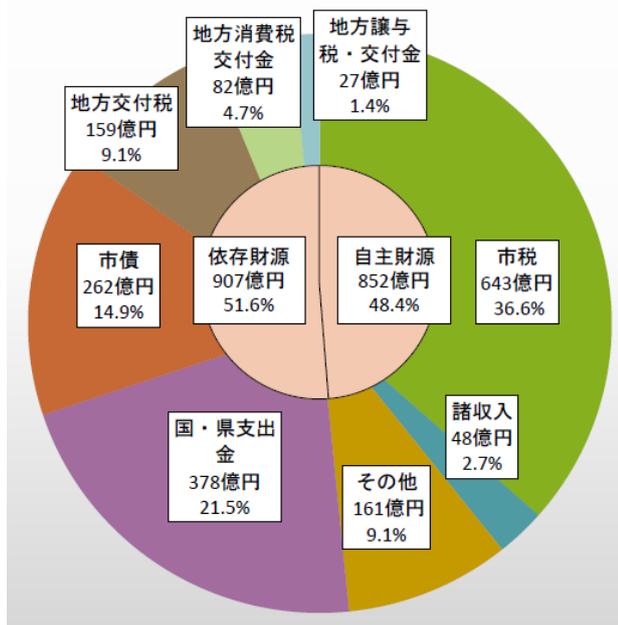
平成 29 年度 決算 見込みの概要

1. 一般会計の概要

- 平成 29 年度の一般会計歳入決算総額は約 1,759 億円で、前年度に比べ 3.4%の増、歳出決算総額は約 1,725 億円で、5.2%の増。
- 歳入総額から歳出総額を差し引き、そこから翌年度へ繰り越す事業の財源を除くと約 38 億円の黒字。

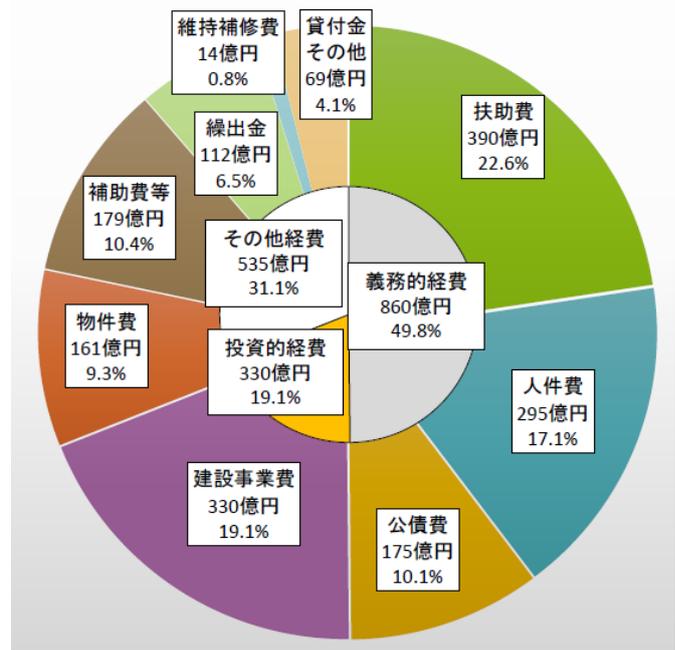
<歳入>

総額：1,759 億円



<歳出>

総額：1,725 億円



2. 一般会計の特徴

- 決算規模は、歳入、歳出ともに過去最大規模
(H28：<歳入>約 1,700 億円、<歳出>1,640 億円)
- 実質収支は、約 20 億円の黒字
(H28：約 38 億円、H27：約 49 億円)
- 単年度収支は、約 18 億円の赤字
- プライマリーバランスは、約 54 億円の赤字 (2 年連続の赤字)
(H28：▲約 8 億円、H27：約 35 億円)
- 市債残高 (臨時財政対策債を除く) は、前年度末に比べ約 82 億円増 (3 年連続増)
- 財政対策基金残高は、前年度末に比べ約 15 億円の減

3. 特別会計の概要

- 競輪や介護保険事業など全 9 会計。全体で収入済額から支出済額を差し引き、そこから翌年度への繰越し財源を除く実質収支は約 14 億円の黒字。

<歳入>約 1,109 億円

<歳出>約 1,095 億円

活動日記



10 / 10
高松市議会「災害時における議会のあり方に関する議員研修会」



10 / 11,12
全国市長会
第80回 全国都市問題会議 (新潟県 長岡市)



10 / 20
木太町
体育協会研修会



10 / 26
四国ドック労組
第58回年次大会



10 / 28
高松市環境美化都市推進会議
高松クリーンデーたかまつきれいでー



11 / 1
全国自治体病院経営都市協議会
第14回 地域医療セミナー



11 / 3
木太町
第36回 木太地区文化祭



11 / 4
木太町
木太町慰霊祭



11 / 10
菊池寛生誕130年・没後70年記念事業
「ふるさとと文学2018～菊池寛の高松」



11 / 11
高松市
高松市震災対策総合訓練



11 / 14
連合香川
第26回 定期大会



11 / 16
高松市議会
市民との意見交換会

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒761-8550

高松市室新町 973-1 高松電気ビル 5階

TEL(087)880-7772 FAX(087)880-7783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

